

事務事業評価資料

施策名		生物多様性の保全の推進		所管部局課名	農政環境部環境創造局自然環境課					
事業名		有害鳥獣捕獲活動実施体制構築事業		担当者電話番号	野生鳥獣係 4216					
事業目的		有害鳥獣捕獲従事者の育成 有害鳥獣捕獲活動の安定的な実施体制を構築 事故のない安全な狩猟の実施								
事業内容		確かな捕獲技術を有した有害鳥獣捕獲従事者の育成 捕獲を担う人材の育成、確保のための体制づくりの検討 「狩猟技能向上安全講習会」の開催支援				事業開始年度	平成26年度			
事業に要するコスト	区分	平成24年度決算額		平成25年度当初予算額		平成26年度当初予算額				
	事業費	(0千円) 0千円		(0千円) 0千円		(9,295千円) 9,295千円				
	人件費	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	3,957千円	従事人員 0.5人			
	総コスト (+)	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	13,252千円	従事人員 0.5人			
事業の目標		入門講座受講生の確保			[目標設定理由]有害捕獲従事者の減少が見込まれる中、入門講座受講生を確保し、永続的に有害鳥獣捕獲に従事する者を育成することにより、適切な捕獲による鳥獣被害の低減を図るため(県下3地区×10名=30名を想定)					
		新規有害鳥獣捕獲従事者数の確保			[目標設定理由]有害捕獲従事者の減少が見込まれる中、新たに有害鳥獣捕獲に従事する者を確保し、適切な捕獲による鳥獣被害の低減を図るため(講座卒業生30人×3年+レ`ル77`指導30人×4年=210人)					
		講習会参加者の確保			[目標設定理由]刃緊急捕獲拡大事業等の実施により鳥獣被害の低減に取り組んでいる中、他府県において銃猟事故も発生していることから、安全講習会参加者を確保した上、事故のない安全な狩猟による鳥獣被害の低減を図るため					
目標の達成度を示す指標		指標名	目 標		24年度実績	25年度見込み	26年度目標	達成率(%)		
			目標値	年度				H24	H25	H26(目標)
		有害鳥獣捕獲班員の育成(入門講座)	30人/2カ年	H26・27	0人 (0千円)	0人 (0千円)	30人 (442千円)	-	-	100.0%
		新規有害鳥獣捕獲従事者数	210人	H30	0人 (0千円)	0人 (0千円)	0人 (0千円)	-	-	0.0%
	狩猟事故件数	0件/年	H26	0件 (0千円)	0件 (0千円)	0件 (0千円)	-	-	100.0%	
評価結果	必要性	・有害鳥獣による農林業被害が高止まりする中、有害鳥獣捕獲活動の担い手は数年後には激減する見込みであり、捕獲班員の育成が必要である。								
	有効性	・将来にわたり有害鳥獣捕獲に従事しようとする者を育成することにより、有害鳥獣捕獲班員の減少を抑制し、適切な捕獲実施体制の構築に資することができる。								
	効率性	・有害捕獲班員の育成により適切な捕獲実施体制が確保でき、充足した人員による効率的な捕獲が推進できる。								
	民間・市町との役割分担	・県：将来にわたり有害捕獲活動に従事しようとする者への入門講座の運営等 ・市町：入門講座受講生に対する経費支援(奨学金制度・免許申請料の補助等)								
	受益と負担の適正化	・本事業による有害鳥獣捕獲従事者の育成等により捕獲活動の活性化・被害の低減が見込まれるが、個人が被害の回復(被害補償)を受けるものではなく、県下全域の将来的な被害予防措置であることから、県及び市町負担で実施する。								
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し					
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定			
実施方針	説明	市町移譲 民間移譲 民間委託 PFI 負担割合変更 事務改善 その他								
	説明	・県としては、市町との役割分担を図りながら、永続的な有害鳥獣捕獲活動実施体制の構築のため、捕獲従事者の育成等という先導的な事業に取り組む。								